

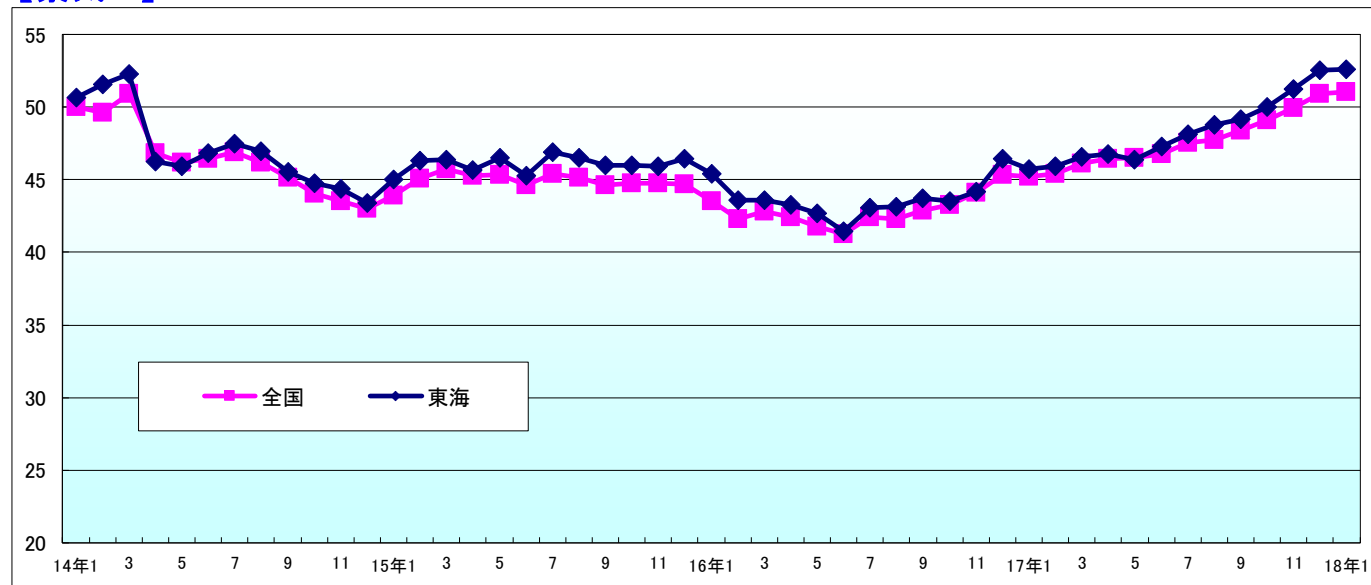
# TDB景気動向調査(東海ブロック・概要)

—2018年1月調査—

2018年2月5日

<b>景気DI=52.6</b>	<b>前月比+0.1</b>	<b>8カ月連続改善、過去最高を更新</b>
<b>景気DI</b>	『東海』は52.6で前月から0.1ポイントの改善、2002年5月の調査開始以来の最高記録を更新した。改善が8カ月連続となるのは2014年3月(9カ月連続)以来で景気の拡大が持続している。「愛知」と「岐阜」は悪化に転じるなどばらつきも見え始めている。全国を上回るのは8カ月連続で全国10地域中では第1位。	
<b>規模別DI</b>	「大企業」(54.4)は前月比0.3ポイント悪化したが、「中小企業」(52.1)は同0.2ポイント、「小規模企業」(51.8)は同0.9ポイントそれぞれ改善した。「大企業」が悪化したものの、「中小企業」「小規模企業」が改善したため、規模間格差は前月比で0.5ポイント縮小した。	
<b>業界別DI</b>	改善が6業界で、悪化が4業界となった。燃料価格高騰の影響を受ける『運輸・倉庫』が前月比4.6ポイント悪化、年末消費の反動と価格競争の厳しい『小売』が同1.4ポイント、『卸売』が同0.7ポイントそれぞれ悪化。一方、自動車や工作機械が堅調な『製造』は同1.2ポイント改善。『製造』の改善は8カ月連続。	
<b>先行き見通しDI</b>	3カ月後は53.3(前月53.0)で前月比0.3ポイント、6カ月後は52.0(同50.9)で同1.1ポイント、1年後は49.9(同49.7)で同0.2ポイントそれぞれ改善。全国との比較では3カ月後と6カ月後は上回ったが、1年後は0.1ポイント下回り、先行きへの警戒感については依然として根強い。	
<b>概況</b>	『東海』のDIは8カ月連続での改善、前月に記録した調査開始以来の最高値を更新。自動車や工作機械など基幹産業が堅調に推移、景気に好影響を与えている。一方で、急速に進む燃料価格の上昇や円高への反転は、好調だった景気に悪影響を与えかねない。人手不足に改善の兆しはなく活発だった冬物消費にもセールの反動が見え始めている。北朝鮮の動向などの東アジアの政情不安、米国をはじめとする欧米諸国の政局の保守化も輸出産業の多い当地区には不安要因だ。当面は緩やかな景気回復傾向が続くと見られるが、先行きへの懸念材料は多い。	

## 【景気DI】



## 【県別景気DI】

県	順位	(前年同月順位)	回答数	(%)	1'17	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1'18	前月比	3カ月後	6カ月後	1年後
愛知	8	(14)	573	41.1	46.0	46.2	47.1	47.7	46.7	47.2	48.6	49.2	49.4	51.4	52.0	53.7	53.5	▲0.2	53.8	52.2	50.2
岐阜	16	(10)	142	40.5	46.5	45.5	45.4	46.2	46.8	47.7	46.8	48.1	50.0	49.6	52.5	53.2	51.9	▲1.3	52.0	50.9	49.3
三重	11	(20)	103	42.9	45.6	47.6	47.6	45.7	47.1	48.5	47.7	49.0	47.8	47.9	51.1	52.1	53.1	1.0	53.2	51.5	49.8
静岡	21	(25)	302	52.1	44.8	45.0	45.9	45.6	45.4	46.8	48.0	48.2	48.8	48.2	49.1	50.2	51.2	1.0	53.0	52.1	49.6
東海	1	(4)	1,120	43.7	45.7	45.9	46.6	46.8	46.4	47.3	48.1	48.8	49.2	50.0	51.2	52.5	52.6	0.1	53.3	52.0	49.9
全国			10,161	44.0	45.2	45.4	46.2	46.5	46.5	46.8	47.6	47.7	48.4	49.1	50.0	50.9	51.1	0.2	52.1	51.4	50.0
格差(東海-全国)					0.5	0.5	0.4	0.3	▲0.1	0.5	0.5	1.1	0.8	0.9	1.2	1.6	1.5	▲0.1	1.2	0.6	▲0.1

※回答数は最新の調査時の有効回答数で、(%)欄は有効回答率

※過去13カ月の景気DI値欄の網掛けは前月比悪化、下線・斜体は同横ばい

※県別の順位は全国47都道府県中、『東海』の順位は全国10地域中の景気DI 網掛けは前年同月比低下

※「格差(東海-全国)」の前月比欄は、格差の前月比増減

## 【業界別景気DI】

業界	回答数	1'17	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1'18	前月比	3カ月後	6カ月後	1年後
農・林・水産	5	50.0	45.2	53.3	50.0	43.3	50.0	44.4	50.0	54.2	50.0	45.8	54.2	53.3	▲0.9	50.0	56.7	56.7
金融	12	45.8	47.6	52.1	53.3	42.9	45.2	51.9	40.0	43.8	44.4	43.8	47.2	48.6	1.4	44.4	45.8	47.2
建設	131	49.9	49.2	48.0	47.9	47.7	49.0	49.4	51.3	50.8	51.0	51.7	53.4	54.1	0.7	54.6	53.2	50.6
不動産	18	44.7	50.8	51.7	51.8	51.0	50.0	48.3	49.2	50.9	53.0	53.5	55.3	55.6	0.3	54.6	52.8	53.7
製造	413	47.0	46.8	47.6	48.2	47.7	49.2	50.0	50.8	50.9	51.9	53.3	53.8	55.0	1.2	55.4	53.9	50.6
卸売	298	42.4	42.4	43.3	42.9	42.9	43.2	44.5	45.0	45.6	46.6	48.6	49.9	49.2	▲0.7	50.7	49.2	48.2
小売	44	37.0	39.3	36.9	37.3	37.0	36.5	37.1	40.2	39.2	39.3	39.5	43.4	42.0	▲1.4	43.6	44.7	45.8
運輸・倉庫	63	47.1	48.0	50.9	50.3	49.7	48.9	51.6	50.9	51.1	54.4	54.1	57.2	52.6	▲4.6	54.2	51.6	49.7
サービス	131	48.0	48.6	49.9	50.9	50.4	50.5	51.4	51.5	52.4	52.6	53.0	54.7	55.5	0.8	55.3	54.2	51.9
その他	5	33.3	36.7	40.0	40.0	45.8	44.4	33.3	36.7	41.7	40.0	43.3	40.0	43.3	3.3	46.7	46.7	43.3

## 【規模別景気DI】

規模	回答数	(%)	1'17	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1'18	前月比	3カ月後	6カ月後	1年後
大企業	256	22.9	49.1	48.7	47.9	49.2	50.5	49.3	50.7	51.5	51.9	52.9	53.4	54.7	54.4	▲0.3	54.4	53.0	51.6
中小企業	864	77.1	44.7	45.1	46.2	46.1	45.3	46.7	47.4	47.9	48.3	49.2	50.6	51.9	52.1	0.2	53.0	51.7	49.4
(うち小規模)	277	24.7	45.1	45.6	46.1	44.9	43.4	45.3	45.0	46.6	47.2	48.5	49.0	50.9	51.8	0.9	53.1	51.2	49.1
格差(大企業-中小企業)			4.4	3.6	1.7	3.1	5.2	2.6	3.3	3.6	3.6	3.7	2.8	2.8	2.3	▲0.5	1.4	1.3	2.2

※(%)は構成比

※「格差(大企業-中小企業)」の前月比欄は、格差の前月比増減

## 【調査概要】

期間	2018年1月18日～1月31日	
方法	インターネット調査	
対象数	回答数	回答率
2,565社	1,120社	43.7%

## 【お問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 名古屋支店  
〒450-0002  
名古屋市中村区名駅5-17-10  
TEL 052-561-4111(代)